

ルーチョ・フォンターナを中心とする20世紀芸術の研究

研究者プロフィール

- ・教養教育センター所属 准教授 巖谷睦月
- ・専門分野：西洋美術史
- ・研究分野：20世紀の芸術（イタリア、アルゼンチンなどを中心とする）
- ・所属学会：美術史学会、イタリア学会、日伊協会、イタリア近現代史研究会
- ・主な経歴・論文等についてはresearchmapをご覧ください。
<https://researchmap.jp/spazialismo>

研究内容

・イタリア移民の子としてアルゼンチンで生まれ、主に北イタリアを中心に、時に母国でも活動した20世紀の芸術家、ルーチョ・フォンターナ（1899-1968）について専門的に研究しています。日本で見られるものでいうと、倉敷の大原美術館にある《空間概念 期待》のように、カンヴァスを一色で塗って、そこに切れこみや穴を開けた作品が有名です。他にネオンを使った大規模な作品も知られており、第二次世界大戦後すぐの時期に「空間主義」という芸術運動を創設した人物として美術の歴史に名を残しました。そうした作品がどのような社会的・政治的な状況を踏まえて生まれてきたもので、歴史的に見たときにどういった芸術運動の影響を受けているのか、といったことを分析し、「空間主義」の芸術の何たるかを明らかにする研究をしています。

関連キーワード

20世紀美術 イタリア アルゼンチン 空間主義

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

・美術館での展覧会の際に図録解説、講演、ギャラリートーク等を担当することが可能です。専門に関連する内容であれば、展示の監修等も担当できます。実例として、2024年4月に広島県福山市のふくやま美術館において「イタリアと日本の前衛：20世紀の日伊交流」展の開催に際しては、専門的な見地から展覧会図録に原稿を執筆するとともに、記念講演会やギャラリートークを担当しました。

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/325075.html>

・カルチャーセンター等での西洋美術史関連の概説授業は時代・分野問わず可能です。大学やNHK文化センターなど、カルチャースクールでの講座経験が複数あります。

研究者への連絡先

- ・産学連携推進センター
Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 電話 022-354-8122